

あなたにとって2024年はどんな1年でしたか？
本市に関係する1年間の出来事を振り返ります。

市民や市出身者が活躍した1年

10/12 市消防団として初出場
第1分団第5部が全国操法大会6位



10月12日、「全国消防操法大会」が宮城県で開催され、第1分団第5部（大坪和政部長、真方地区等）が市消防団として初出場を果たしました。出場した「ポンプ車操法の部」には全国の精鋭24隊が出場。団員は日頃の訓練の成果を披露し、見事6位入賞（優良賞2位）に輝きました。11月23日の「こばやし秋まつり」では、同団の活躍をたたえ市消防団によるパレードも行われました。

9/29 寺田匠さんが悲願のK-1王者に



9月29日、本市出身のプロ格闘家でこばやしPR大使も務める寺田匠選手が、東京都で開催された格闘技イベント『K-1 WORLD GP フェザー級タイトルマッチ』で見事に勝利し、悲願のK-1チャンピオンに輝きました。寺田さんは、令和5年11月にイタリアで開かれたキックボクシングの大会『ISKA 世界スーパーフェザー級』で世界王者にも輝いており、今後ますますの活躍が期待されます。

始動 未来に向けて大きく動き出した1年

9/21 健幸のまちづくり拠点施設の建設がいよいよスタート



体育館機能・健康づくり機能・子育て支援機能を備え、災害時は大規模避難所として使用できる複合型の体育館として整備される健幸のまちづくり拠点施設。9月21日には関係者や工事関係者などが参列して安全祈願祭が行われ、いよいよ建設がスタートしました。施設は令和8年3月の竣工・市への引き渡しを目指しており、現在は基礎工事の杭打ち作業を行っています。詳細は「健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん」(24頁)をご覧ください。

11/15 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会を設立



11月15日、「国民スポーツ大会」、「全国障害者スポーツ大会」の宮崎県での開催が決定したことを受け、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ小林市実行委員会」が設立されました。宮崎県での開催は昭和54年以来48年ぶり。令和9年の開催に向けて、オール小林体制で準備を進めていきます。今後も、関連イベントを随時開催するほか、1月11日には大会1000日前イベントを開催予定です。



1月1日16時10分ごろ、元日の能登半島を最大震度7の大きな揺れが襲いました。姉妹都市石川県能登町では震度6弱（一部地域では6強）の揺れに見舞われ、一部では津波による大きな被害が発生したほか、町内全域で家屋の倒壊や土砂崩れが発生。市では能登町へ職員を派遣して支援したほか、経済団体などと連携して支援物資を送付。市内でも多くの義援金が集まるなど、支援の輪が広がりました。

災害 大きな地震に見舞われた1年



8月8日16時42分ごろ、日向灘を震源とするM7.1、最大震度6弱の地震が発生。本市でも震度5弱の大きな揺れが観測されました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報」を初めて発表。幸いにもその後には大きな地震は発生しませんでした。大きな地震は発生しませんが、南海トラフ地震は100〜150年の周期で発生するとされています。引き続き、自分や家族の身を守る「備え」をお願いします。

1/1 元日に能登半島を襲った大きな地震 姉妹都市能登町でも大きな被害

- 02 2024年を振り返る
- 04 令和7年新春のごあいさつ
- 06 特集／能登半島地震から1年さらに広げよう支援の輪
- 08 Photo Report／こばやし秋まつり
- 10 Photo Report／第73回こばやし駅伝競争大会
- 12 こばやし Topics
- 16 Pick Up Topics／「KOBAYASHI デジタルの日」を開催 企業対抗ウォーキングチャレンジ結果発表
- 17 Pick Up Information まちづくり市民アンケート結果報告
- 18 おしらせ
- 20 暮らしのカレンダー
- 22 教育委員会からのお知らせ／きずな協働体通信
- 24 手話で話そう！／健幸のまちづくり拠点施設整備つうしん／元気の知恵袋
- 25 図書館からのお知らせ／こばまち便り
- 26 ハッシン info／Instagram& 広報こばやし
- 27 SUKUSUKU／心の花びら

今月の表紙

野尻小学校の収穫祭(餅つき)



表紙は、11月30日に野尻小学校で開かれた収穫祭(餅つき)の様子です。使用したもち米は、東麓地区営農組合の指導を受けて3年生が栽培・収穫したものです。子どもたちは、営農組合や保護者、地域のボランティアなどから教わりながら元気に餅つきを行い、その場でつくった餅を笑顔で味わっていました。